

令和2年（2020年）基準

# 山梨県鉱工業指数基準改定の概要

令和6年3月28日

山梨県県民生活部統計調査課

# 目 次

1 改定の趣旨	1
2 改定の対象とした指数	1
3 改定の主な内容	1
(1) 基準時及びウェイト算定年次の変更	1
(2) 業種分類の一部変更	1
(3) 採用品目の見直し	1
(4) ウェイトの見直し	1
(5) 季節調整法	2
(6) 新基準への切替え及び旧基準指数との接続	2
○個別品目の変更点	3
・採用品目数・変更品目（資料1）	3
○業種分類別採用品目数の比較（資料2）	5
○業種分類別ウェイトの比較（資料3）	6
○財分類別ウェイトの比較（資料4）	7
○令和2年基準 鉱工業指数の推移（資料5）	8
○令和2年基準指数と平成27年基準指数の比較	9
・生産指数の新旧比較（資料6）	9
・出荷指数の新旧比較（資料7）	10
・在庫指数の新旧比較（資料8）	11

## 1 改定の趣旨

本県では、県内における鉱工業の生産、出荷及び在庫の動向を総合的かつ迅速に把握することを目的として、「山梨県鉱工業指数」を作成し毎月公表している。

鉱工業指数については、「指数の基準時に関する統計基準」（平成22年3月統計基準設定）において「指数の基準時は、5年ごとに更新することとし、西暦の年数の末尾が0又は5である年とする」とされていることから、現行の基準時である平成27年（2015年）から5年後の令和2年（2020年）を新たな基準時とし、ウェイトや採用品目の見直しを行った。

## 2 改定の対象とした指数

令和2年基準へ改定を行った指数は、以下の3系列である。

- ①生産指数（付加価値額ウェイト）
- ②出荷指数
- ③在庫指数

## 3 改定の主な内容

### （1）基準時及びウェイト算定年次の変更

指数の基準時及びウェイト算定年次を、平成27年（2015年）から令和2年（2020年）へ変更した。指数値は、令和2年の平均を100.0とした比率で示される。

### （2）業種分類の一部変更

令和2年基準指数の業種分類は、原則として日本標準産業分類（第13回改定）（平成25年10月統計基準設定）に準拠した。

新たに「化学工業」を採用し、在庫指数については、新たに「鉄鋼業」を採用した。

### （3）採用品目の見直し（資料1、2）

県内の生産活動の動向及び特徴をよりの確に反映させるという観点から、主に経済産業省生産動態統計調査を基に選定した。このほか、経済産業省の所管外の品目についても、採用の可否について検討した。

### （4）ウェイトの見直し（資料3、4）

業種別のウェイトは、令和3年経済センサス-活動調査を基礎データとして、鉱工業指数の業種分類・概念に適合するよう組替えを行った上で算定した。

その結果、ウェイトが変化した主な業種は以下のとおり。

指数の種類	上昇した主な業種	低下した主な業種
生産指数（付加価値額ウェイト）	食料品工業 生産用機械工業 窯業・土石製品工業	電気機械工業 その他工業 汎用・業務用機械工業
出荷指数	食料品工業 窯業・土石製品工業 電子部品・デバイス工業	生産用機械工業 情報通信機械工業 その他工業
在庫指数	生産用機械工業 食料品工業 汎用・業務用機械工業	電気機械工業 金属製品工業 その他工業

#### （５）季節調整法

季節調整法は、米国センサス局のX-12-ARIMAを用いた。

季節調整済指数は、季節要因に加え、曜日・祝祭日要因、うるう年要因によっても調整されている。（在庫指数については、季節要因のみ。）

#### （６）新基準への切替え及び旧基準指数との接続

令和２年基準による山梨県鉱工業指数は、令和６年１月分月報から適用し、過去系列については平成３０年１月分まで遡及して作成した。

なお、旧基準指数との接続に際しては、旧基準指数にリンク係数を乗じたものを接続する。

平成２７年基準指数との接続のためのリンク係数の算出方法は次のとおり。

$$\text{リンク係数} = \frac{\text{令和２年基準における平成３０年１～３月の平均季節調整済指数}}{\text{平成２７年基準における平成３０年１～３月の平均季節調整済指数}}$$

## ○個別品目の変更点

## ・採用品目数

指数の種類	H27年基準	R2年基準	差	差		
				新規	非採用	統合
生産・出荷	111	103	△8	13	21	0
在庫	53	58	5	14	9	0

## ・変更品目（生産、出荷）

業 種	<新規採用品目>	<採用廃止品目>
非鉄金属工業	はんだ	銅・銅合金鋳物 アルミニウム鋳物
金属製品工業	橋りょう	
汎用・業務用機械工業		天井走行クレーン 玉軸受 高温高圧弁 複写機部品 カメラ用三脚
生産用機械工業		超硬工具 ダイヤモンド工具 乾燥機 金型 真空ポンプ
電気機械工業		サーボモータ 開閉制御装置 超音波応用装置 工業用計測制御機器
情報通信機械工業	外部記憶装置 金融用端末装置	無線応用装置
化学工業	酸素 窒素 仕上用化粧品 洗顔クリーム類 化粧水・美容液 パック 頭髪用化粧品	
プラスチック製品工業	プラスチック製板 強化プラスチック製品	プラスチック製継手 合成皮革 プラスチック製日用品・雑貨
繊維工業		ニット製外衣

## ・ 変更品目（在庫）

業 種	<新規採用品目>	<採用廃止品目>
鉄鋼業	鋳鉄鋳物	
非鉄金属工業	はんだ	
金属製品工業		錠・かぎ
汎用・業務用機械工業		複写機部品 カメラ用三脚
生産用機械工業		超硬工具 ダイヤモンド工具 真空ポンプ
窯業・土石製品工業	ファインセラミックス（一般構 造材）	
化学工業	酸素 窒素 仕上用化粧品 洗顔クリーム類 化粧水・美容液 パック 頭髪用化粧品	
プラスチック製品工業	プラスチック製板 強化プラスチック製品	合成皮革 プラスチック製日用品・雑貨
繊維工業		ニット製外衣
食料品工業	パン ウイスキー	

## ○業種分類別採用品目数の比較

業種	生産・出荷指数			在庫指数		
	H27年 基準	R2年 基準	差	H27年 基準	R2年 基準	差
	A	B	B-A	A	B	B-A
鋁工業	111	103	△ 8	53	58	5
鉄鋼業	4	4	0	—	1	—
非鉄金属工業	4	3	△ 1	1	2	1
金属製品工業	8	9	1	3	2	△ 1
汎用・業務用機械工業	12	7	△ 5	6	4	△ 2
汎用機械工業	7	4	△ 3	1	1	0
業務用機械工業	5	3	△ 2	5	3	△ 2
生産用機械工業	12	7	△ 5	6	3	△ 3
電子部品・デバイス工業	8	8	0	5	5	0
電気機械工業	12	8	△ 4	2	2	0
情報通信機械工業	4	5	1	1	1	0
輸送機械工業	6	6	0	1	1	0
窯業・土石製品工業	4	4	0	2	3	1
化学工業	—	7	—	—	7	—
プラスチック製品工業	8	7	△ 1	5	5	0
紙・紙加工品工業	5	5	0	4	4	0
繊維工業	5	4	△ 1	3	2	△ 1
食料品工業	16	16	0	11	13	2
その他工業	3	3	0	3	3	0
家具工業	1	1	0	1	1	0
木材・木製品工業	1	1	0	1	1	0
その他製品工業	1	1	0	1	1	0
(参考系列)						
機械工業	54	41	△ 13	21	16	△ 5
はん用・生産用・業務用機械工業	24	14	△ 10	12	7	△ 5

## ○業種分類別ウェイトの比較

業種	生産指数			出荷指数			在庫指数		
	H27年基準	R2年基準	差	H27年基準	R2年基準	差	H27年基準	R2年基準	差
	A	B	B-A	A	B	B-A	A	B	B-A
鉱工業	10000.0	10000.0	0.0	10000.0	10000.0	0.0	10000.0	10000.0	0.0
鉄鋼業	36.5	31.2	△ 5.3	43.0	31.4	△ 11.6	—	20.7	—
非鉄金属工業	170.9	144.0	△ 26.9	202.7	200.7	△ 2.0	436.0	336.3	△ 99.7
金属製品工業	451.0	365.5	△ 85.5	385.2	369.1	△ 16.1	1269.5	584.8	△ 684.7
汎用・業務用機械工業	891.1	670.4	△ 220.7	685.5	621.0	△ 64.5	791.1	916.8	125.7
汎用機械工業	498.4	302.0	△ 196.4	335.4	316.2	△ 19.2	26.3	478.3	452.0
業務用機械工業	392.7	368.4	△ 24.3	350.1	304.8	△ 45.3	764.8	438.5	△ 326.3
生産用機械工業	2074.7	2334.6	259.9	2658.8	2459.4	△ 199.4	1077.0	3289.1	2212.1
電子部品・デバイス工業	881.9	722.9	△ 159.0	907.8	973.2	65.4	716.4	634.9	△ 81.5
電気機械工業	1696.3	1301.5	△ 394.8	1264.4	1240.8	△ 23.6	1483.8	461.8	△ 1022.0
情報通信機械工業	582.6	369.2	△ 213.4	709.8	581.3	△ 128.5	292.1	367.5	75.4
輸送機械工業	389.5	255.5	△ 134.0	426.6	355.0	△ 71.6	309.3	236.5	△ 72.8
窯業・土石製品工業	344.1	481.0	136.9	268.1	341.8	73.7	411.5	83.1	△ 328.4
化学工業	—	483.7	—	—	323.2	—	—	297.9	—
プラスチック製品工業	365.6	323.6	△ 42.0	436.2	387.3	△ 48.9	383.4	270.7	△ 112.7
紙・紙加工品工業	60.7	91.6	30.9	73.6	89.7	16.1	133.0	52.5	△ 80.5
繊維工業	205.9	104.5	△ 101.4	154.7	98.6	△ 56.1	424.5	376.2	△ 48.3
食料品工業	1400.2	2116.0	715.8	1389.1	1618.5	229.4	1100.2	1423.6	323.4
その他工業	449.0	204.8	△ 244.2	394.5	309.0	△ 85.5	1172.2	647.6	△ 524.6
家具工業	63.7	32.5	△ 31.2	41.1	29.3	△ 11.8	72.0	14.6	△ 57.4
木材・木製品工業	46.5	26.3	△ 20.2	31.7	37.1	5.4	35.7	40.1	4.4
その他製品工業	338.8	146.0	△ 192.8	321.7	242.6	△ 79.1	1064.5	592.9	△ 471.6
(参考系列)									
機械工業	6516.1	5654.1	△ 862.0	6652.9	6230.7	△ 422.2	4669.7	5906.6	1236.9
はん用・生産用・業務用機械工業	2965.8	3005.0	39.2	3344.3	3080.4	△ 263.9	1868.1	4205.9	2337.8

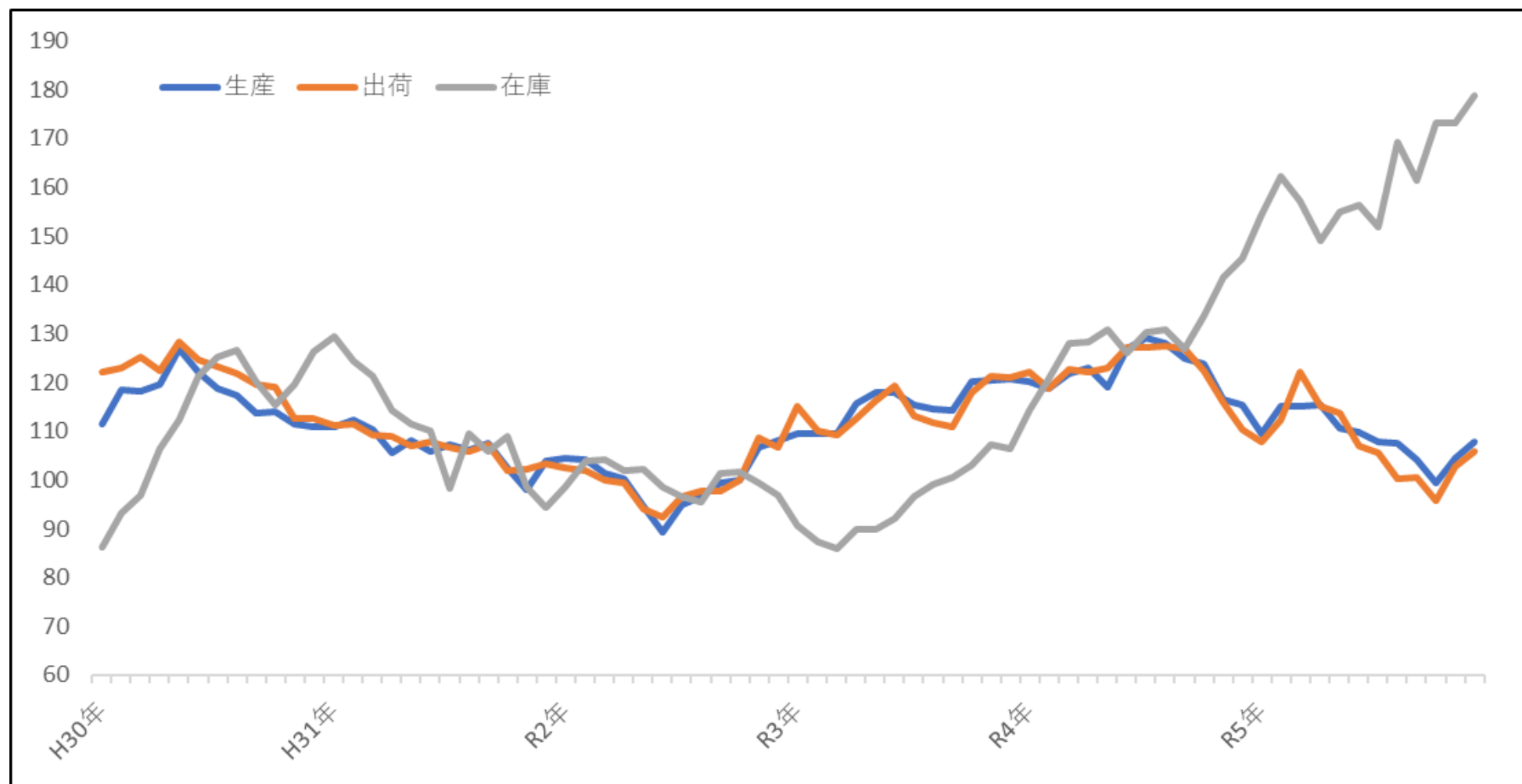


## ○財分類別ウェイトの比較

業種	生産指数			出荷指数			在庫指数		
	H27年基準	R2年基準	差	H27年基準	R2年基準	差	H27年基準	R2年基準	差
	A	B	B-A	A	B	B-A	A	B	B-A
鉱工業	10000.0	10000.0	0.0	10000.0	10000.0	0.0	10000.0	10000.0	0.0
最終需要財	6763.3	7017.8	254.5	6816.9	6873.0	56.1	7171.4	7635.3	463.9
投資財	4816.1	4326.3	△ 489.8	4914.4	4696.1	△ 218.3	4749.0	5312.5	563.5
資本財	4335.5	3897.6	△ 437.9	4497.7	4274.0	△ 223.7	4162.2	5015.1	852.9
建設財	480.6	428.7	△ 51.9	416.7	422.1	5.4	586.8	297.4	△ 289.4
消費財	1947.2	2691.5	744.3	1902.5	2176.9	274.4	2422.4	2322.8	△ 99.6
耐久消費財	470.2	189.0	△ 281.2	432.7	294.5	△ 138.2	1171.8	611.7	△ 560.1
非耐久消費財	1477.0	2502.5	1025.5	1469.8	1882.4	412.6	1250.6	1711.1	460.5
生産財	3236.7	2982.2	△ 254.5	3183.1	3127.0	△ 56.1	2828.6	2364.7	△ 463.9

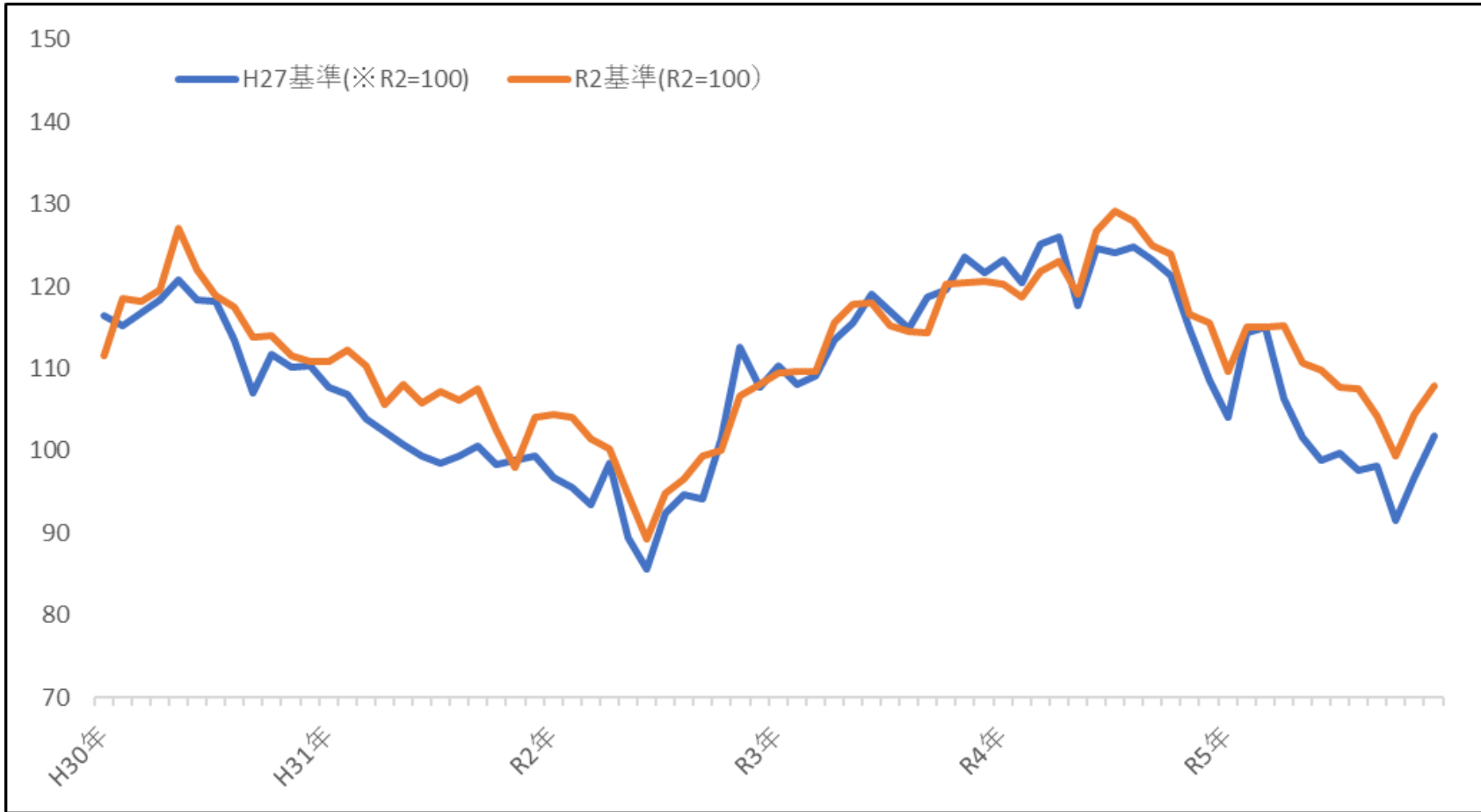
## ○令和 2 年基準 鋳工業指数の推移

令和 2 年基準鋳工業指数の推移（季節調整済指数）



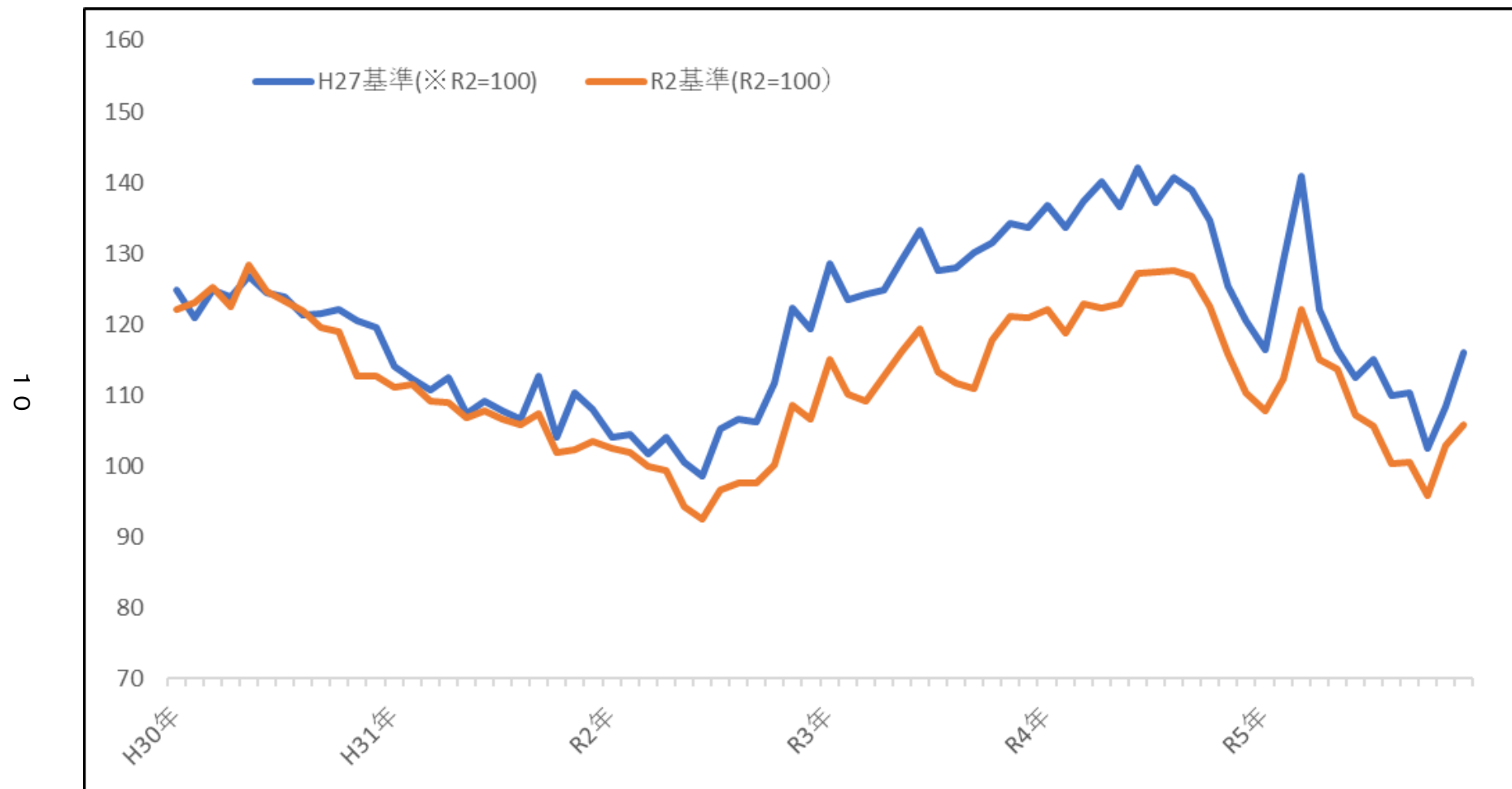
### ○令和2年基準指数と平成27年基準指数の比較

生産指数の新旧比較（季節調整済指数）



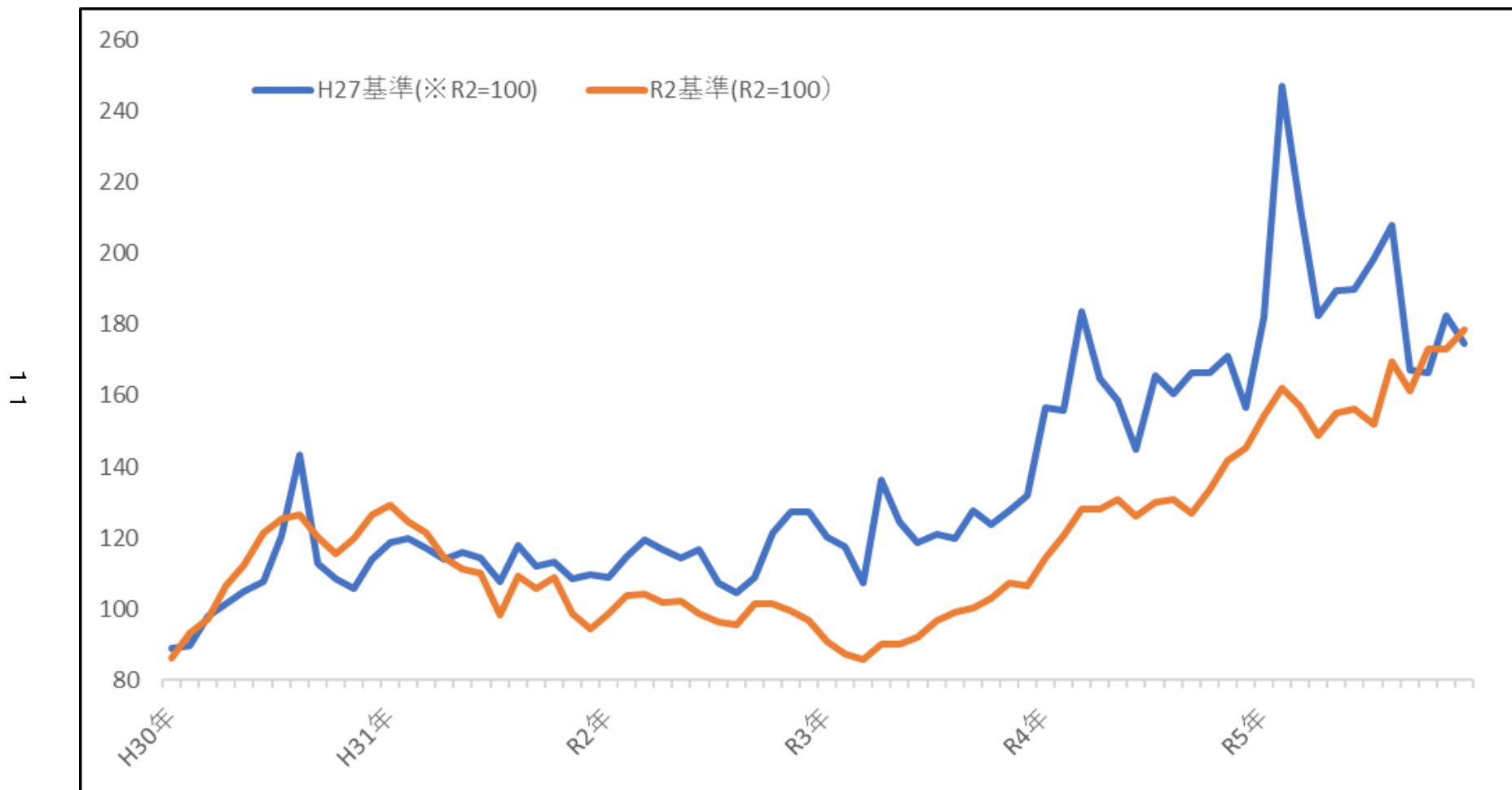
※比較のため、H27年基準指数はR2=100に換算している。

出荷指数の新旧比較（季節調整済指数）



※比較のため、H27年基準指数はR2=100に換算している。

在庫指数の新旧比較（季節調整済指数）



※比較のため、H27年基準指数はR2=100に換算している。